

いわちゃん ポスト

岩井やすのりの県政かわら版

千葉県議会議員



岩井やすのり

略歴 1970年(昭和45年)生まれ52歳
専修大卒、早稲田大学院 政治学研究科修了

事務所連絡先 Fax: **0476-36-7802**

HP: <http://www.iwai-y.jp> メール: mail@iwai-y.jp

印旛郡栄町安食台 2-26-23 (栄町役場前大山ビル 2F)



ツイッター始めました！
(@9I4SgDc1ET2EEKA)

カワウ対策で新たに枝伐採へ 印西・花の丘公園

県立北総花の丘公園内の調整池に生息し、糞などの生活環境被害をもたらしているカワウ問題。6/14 には民放テレビ番組でも取り上げられ、市民の関心が高まる中、県はカワウ対策として、周辺樹木の枝払いを実施することを決めています。



●「洗濯物を干せない」「車のボンネットが汚れる」

日本各地の川や河口付近に生息するカワウ。1970年代には環境汚染などにより全国で3千羽にまで減少したものの、水質が改善され現在は約7万羽にまで増えています。過去には花の丘公園内に2千羽近いカワウが確認されており、これは県内生息数の3割に上っていたことになります。

問題となっているのは、糞による生活環境被害です。カワウの糞は窒素やリンを含有しているため、公園内の草木を根元から枯らすなど自然環境に深刻な影響を与えています。また、公園に隣接

する住宅街では、「糞の臭いがひどい」「洗濯物を外に干しておけない」「車のボンネットが汚れる」などの悲鳴が上がっているのです。

●ドローン、リンロンテープも効果得られず

地元自治会ではカワウ被害対策の委員会を設けています。県土木事務所など関係機関への働きかけを行う一方、ポンプ車を利用した巣への放水、自治会で購入した「音追いピストル」による追い払い等のカワウ対策を実施。地元選出県議である岩井にも連絡をいただき、ドローンを活用した高所での追い払いや獣害防除用の「リンロンテープ」の設置など働きかけてきたものの、十分な効果が得られてこなかったのが実情です。

●巣作り前の7～10月までに作業行いたい

県では今年度のカワウ対策として、これまで行ってきたリンロンテープの設置に代わり、木の伐採(枝払い)を行うとのこと。対象となるのは、例年カワウが巣作りをしてきた、池に面する約2600平米で、巣作りを始める前の7月から10月に作業を行いたいとしています。

ただ、作業を行う現場の特殊性から水面側から伐採を行わなければならない、その困難さから手を挙げる業者は多くありません。7/6時点で競争入札を実施要件である「3者以上の見積もり」がなく、作業日程が定まらない状況となっています。

県担当課は枝払いによる対策を集中して行うべく、業者選定に全力と尽くしたいとしているところ。効果が上がる時期は限られており、岩井としても引き続き働きかけてまいります。

牧の原小周辺の「見えない横断歩道」年内補修へ

子どもたちの安全を脅かしかねない、見えない・見えにくい横断歩道。印西市・牧の原小学校に子どもが通う保護者からのご指摘を受け、学校周辺の横断歩道の一斉点検、問題箇所の補修が行われることとなりました。

●通学児童を見守るママさんからのメール

保護者の方よりメールにてご連絡をいただいたのは5月下旬のこと。子どもたちの登校の見守り活動を行う中で、消えかかった横断歩道や停止線を目の当たりにし、早急に直してもらおう働きかけてもらえないかとの内容です。



特にご指摘いただいたのは、ジョイフル本田千葉NT店の北側にある2つのT字路交差点。横断歩道や停止線の路面塗装が著しく摩耗し、見えづらくなっている（写真上）ことに加え、横断歩道の30m、50m手前に表示されるべき「ダイヤモンド」の塗装も消えかかっており（写真下）、これでは自動車運転者が横断歩道の存在を認識できません。

また、牧の原小学校から約500mの範囲について

点検すると、こうした消えかかっている横断歩道が他にも少なくないことがわかります。地域には一戸建ての住宅が急増し、児童、生徒が多い上、近隣には商業施設が立ち並び、車両の通行が絶えないだけに、早期の対応が望まれるところです。

●「地域からの要望により把握、対応」が実態

ところで、県警は横断歩道での交通事故防止のため、安全に横断歩道を渡れる環境整備に力を入れてきたと言います。実際、令和2年度中に3億6600万円をかけ約2千500か所、令和3年度中には4億4700万円をかけ約2千800か所の横断歩道等の補修を行ってきました。

しかし、横断歩道の摩耗状況の把握と補修については、県内2万1千か所ある横断歩道を計画管理しているわけではありません。地域からの指摘や要望により摩耗状況を把握した上で、個別対応しているというのが実態なのです。

●周辺横断歩道の一斉点検、年内補修が決定

指摘を受けた牧の原小学校周辺の横断歩道については、6月頭に県警担当課との協議を行い、一斉点検の実施と問題箇所の補修を強く要望。所轄の印西警察署による現地確認の後、6月末までに「2つのT字路交差点横断歩道を含む問題箇所について、年内に補修を行う」との回答があったところです。

既述の通り、行政による横断歩道や道路の補修等は「要望による対応」が実態。お気づきの問題がありましたら、気兼ねなく岩井までご連絡ください。

